

# 一般社団法人日本真空学会 平成 29 年度 総会のお知らせ

平成 29 年度総会を下記により開催します。万障お繰り合わせのうえご出席下さい。  
ご欠席の場合は同封の委任状にご署名のうえ、事務局までお送り下さい。

## 記

日 時 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 午後 1 時 00 分から  
場 所 機械振興会館 地下 3 階 研修 2 号室 (東京都港区芝公園三丁目 5 番 8 号)  
一般社団法人日本真空学会 TEL 03-3431-4395

## 議 案

1. 第 1 議案 平成 28 年度後期 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月) 事業報告の件
2. 第 2 議案 平成 28 年度後期 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月) 決算報告の件
3. 第 3 議案 合併の件
4. 第 4 議案 役員改選の件
5. その他

## 報告事項

1. 平成 29 年度 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月) 事業計画(案)の件
2. 平成 29 年度 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月) 予算(案)の件

以上

## 第 1 議案

### 平成 28 年度後期事業報告

自 平成 28 年 4 月 1 日  
至 平成 29 年 3 月 31 日

#### (1) 会員異動

##### 1) 個人会員

28.3.31 現在 621 名 (うち学生会員 105 名)  
入会 65 名 ( " 48 名)  
退会 98 名 ( " 61 名)  
29.3.31 現在 588 名 (うち学生会員 89 名) ※3 名学生会員→個人会員に変更

##### 2) 法人会員

口数	28.3.31 現在		29.3.31 現在			
	会員数	口数	会員数	年間会員数増減	口数	年間口数増減
9	1	9	1	0	9	0
8	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
6	2	12	2	0	12	0
5	5	25	5	0	25	0
4	0	0	0	0	0	0
3	3	9	4	+1	12	+3
2	2	4	2	0	4	0
1	111	111	105	△6	105	△6
計	124	170	119	+1 △6	167	+3 △6

##### 3) 特別会員

28.3.31 現在 53 口  
入会 0 口  
退会 1 口  
29.3.31 現在 52 口

- (2) 総会 1回 (6月9日開催)
- (3) 理事会等
- ・理事会 4回
  - ・協議員会 1回
  - ・日本真空工業会理事会へ派遣 5回
  - ・IUVSTA 理事会 (ECM) へ派遣 3回
- (4) 委員会
- ・事業計画委員会 3回
  - ・財務委員会 1回
  - ・教育委員会 4回
  - ・編集委員会 6回
  - ・講演・研究会企画委員会 6回 (内メール審議2回)
  - ・産学連携委員会 (幹事会) 5回
  - ・規格・標準委員会 5回
  - ・広報委員会 (メール審議) 1回
  - ・国際委員会 1回
  - ・真空技術者資格認定委員会 (日本真空工業会と合同) 2回
- (5) 部会
- ・スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会 (幹事会) 5回
  - ・機能薄膜部会 1回
  - ・真空技術調査部会 0回
- (6) 会議等
- ・日本真空工業会とのトップ会合 1回
  - ・日本表面科学会とのトップ会合 1回
  - ・顕彰審査会 1回
  - ・表彰審査会 1回
  - ・真空技術者資格試験委員会 7回
  - ・規格標準合同検討委員会 (日本真空工業会と合同) 5回
  - ・低圧力真空計ワーキング 1回
  - ・JIS 改正原案作成委員会分科会 2回
  - ・ISO 派遣 1回
  - ・統合検討ワーキング 1回
  - ・合併検討委員会 5回
  - ・合同合併検討委員会 (日本表面科学会と合同) 4回
  - ・合併説明会 5回
  - ・2016年真空・表面科学合同講演会(第57回真空に関する連合講演会)
    - 合同実行委員会 5回
    - 合同プログラム委員会 3回
  - ・2017年真空・表面科学合同講演会(第58回真空に関する連合講演会)
    - 合同実行委員会 1回
    - 合同プログラム委員会 1回
  - ・第38回「VACUUM2016 真空展」展示委員会 3回
  - ・第39回「VACUUM2017 真空展」展示委員会 1回
  - ・ISSP2017 国際会議実行委員会 4回
  - ・IVC-22 招致委員会 1回
  - ・IUVSTA Workshop-77 運営委員会 1回
  - ・真空科学ハンドブック編集委員会 2回
- (7) 事業
- 1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」 12回発行
- ・小特集
    - 4号「第56回真空に関する連合講演会論文集」
    - 5号「クラスターイオンビーム」
    - 6号 小特集なし
    - 7号「真空基礎講座 2016」

- 8号「世界の最先端加速器と将来展望」  
 9号「低真空・中真空計測の最新動向(1)」  
 10号「低真空・中真空計測の最新動向(2)」  
 11号「シンクロトロン放射光による X 線吸収分光の新展開(1)」  
 12号「シンクロトロン放射光による X 線吸収分光の新展開(2)」  
 1号「限界に挑む真空ナノエレクトロニクスの現状と展望」  
 「20th International Vacuum Conference(IVC-20)」  
 2号「暮らしに役立つ電子ビーム技術」  
 3号「プラズマ励起プロセスを用いた表面改質の基礎と応用」  
 「表面処理技術」
- 2) 2016年真空・表面科学合同講演会（第57回真空に関する連合講演会）  
 （日本表面科学会と合同で開催）11月29日～12月1日（名古屋国際会議場）  
 参加者：635名  
 講演構成：444件
- ・基調講演：2件
  - ・真空学会受賞記念講演：3件
  - ・表面科学会学会賞講演：2件
  - ・合同シンポジウム「グラフェン・二次元原子膜の展望」：6件
  - ・合同シンポジウム「電子を用いた分析法の未来へ」：6件
  - ・合同シンポジウム「表面分析手法による微生物とその複合体の形態・機能解析」：5件
  - ・合同シンポジウム「単原子、単分子レベルに挑む局所分析」：6件
  - ・表面科学シンポジウム「先端表面分析の最近の進展と産業応用」：5件
  - ・オーガナイズドセッション「スパッタリング成膜技術の新展開」：11件
  - ・真空口頭発表（8セッション）：40件（招待講演8件を含む）
  - ・表面口頭発表（8セッション）：187件（招待講演8件を含む）
  - ・真空ポスター発表：71件
  - ・表面ポスター発表：100件
  - ・企業展示：62小間（真空32社32小間，表面29社30小間）
  - ・企業プレゼン：12社
- 関連行事：
- ・スクールコース「表面科学研究のための超高真空技術」  
 12月1日（名古屋国際会議場）7名参加
  - ・第7回真空・表面科学若手研究会  
 12月1日（自然科学研究機構分子科学研究所明大寺キャンパス）33名参加
- 3) 第56回真空夏季大学
- ・8月30日～9月2日（ヤマハリゾートつま恋）70名参加
  - ・9月2日 真空応用技術講座（ヤマハリゾートつま恋）26名参加  
 「プロセスプラズマの基礎」14名参加  
 「真空システム」12名参加
- 4) 第52回真空技術基礎講習会
- ・5月24日～27日（大阪府立産業技術総合研究所）48名参加（部分参加を含む）
- 5) 真空技術者資格認定試験（第14回）（日本真空工業会と共催）10月8日  
 東京：機械振興会館，大阪：大阪科学技術センター  
 受験者数 1級89名，2級107名  
 合格者数 1級36名，2級31名  
 真空主任技術者認定 7名
- 6) 顕彰・表彰：授与式 11月30日（名古屋国際会議場）
- 顕彰
- ・第3回学会賞 顕彰者：小林正典
  - ・第3回学会賞 顕彰者：小野雅敏
  - ・第4回真空の匠 該当者なし
  - ・第3回フェロー 顕彰者：荻原徳男
  - ・第3回フェロー 顕彰者：間瀬一彦
  - ・第3回フェロー 顕彰者：秋道 斉

## 表彰

- ・ 第 41 回熊谷記念真空科学論文賞  
該当者なし
- ・ 第 41 回真空技術賞  
業績：Direct Simulation Monte Carlo 法のターボ分子ポンプへの適用  
受賞者：筒井慎吾，二木敬一
- ・ 第 25 回真空進歩賞  
業績：コンパクト反応性イオンエッチング炉の開発  
受賞者：本村大成
- ・ 第 5 回真空会誌賞  
業績：測定学から見た真空計測の基礎  
[講座] 真空計測で用いられる計測用語  
真空計測で用いられる計測用語（つづき）  
真空計の校正結果と不確かさ評価の例  
真空計の長期安定性  
※新井健太，飯泉英昭，梶川宏明，小島桃子との共著  
1. J. Vac. Soc. Jpn. 58 巻 3 号 (2015) 117-121  
2. J. Vac. Soc. Jpn. 58 巻 4 号 (2015) 155-161  
3. J. Vac. Soc. Jpn. 58 巻 6 号 (2015) 227-237  
4. J. Vac. Soc. Jpn. 58 巻 7 号 (2015) 265-271  
受賞者：吉田 肇
- ・ 第 57 回真空に関する連合講演会優秀ポスター賞：2 件  
(1) 発表：分子交換流を用いた混合気体の分離実験  
発表者：松本理彰，杉元 宏  
(2) 発表：Verwey 転位温度前後でのマグネタイトの X 線光電子磁気円二色性  
発表者：橋本由介，松井文彦，田口宗孝，松田博之，深見 駿，田中一光，岡本隆志，米田允俊，大門 寛
- 7) 第 38 回「VACUUM2016 真空展」(日本真空工業会と共催) 9 月 7 日～9 日  
開催規模：71 社・団体 177 小間 来場者数：16,235 名  
※同時開催難加工技術展 2016，表面改質展 2016  
日本真空学会企画事業
  - ・ 大学・公的機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介 24 件
  - ・ 9 月 7 日 学生ツアー 14 名参加 (青山学院大学，成蹊大学，東京理科大学，日本大学，東海大学，サレジオ工業高等専門学校，東京女子大学，工学院大学)
  - ・ 9 月 7 日～ 9 日 スクールコース「超高真空技術講座」 28，20，26 名参加
  - ・ 9 月 7 日～ 9 日 スクールコース「薄膜の基本技術講座」 36，46，53 名参加
  - ・ 9 月 8 日 規格標準報告会「隔膜真空計の規格開発の現状報告と，真空と漏れの標準，ガス分析」 39 名参加
  - ・ 9 月 9 日 真空シンポジウム「加速器が魅せる未来」 68 名参加
- 8) 研究例会
  - ・ 7 月 11 日「真空を用いたフィルム加工技術」 50 名参加 (機械振興会館)
  - ・ 10 月 6 日「真空と水・表面と氷：身近な物質の物理と化学」(日本表面科学会と合同) 15 名参加 (北海道大学 学術交流会館)
  - ・ 12 月 14 日「真空中での原子層成長：ALD 技術の最近の進歩」 98 名参加 (機械振興会館)
  - ・ 1 月 18 日「光と表面：バイオセンシング・ガスセンシングへの応用」(日本表面科学会と合同) 30 名参加 (機械振興会館)
- 9) 産学連携委員会例会
  - ・ 5 月 18 日 40 名参加 (機械振興会館)
    1. (株)片桐エンジニアリングの真空およびプラズマ技術 (25 周年を迎えて)
    2. 重粒子線がん治療装置の現状と今後の展開
  - ・ 7 月 15 日 見学会 25 名参加  
訪問先：国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟，重粒子線棟，新治療研究棟

- ・ 9月 9日 68名参加 (パシフィコ横浜)  
第17回真空シンポジウム「加速器が魅せる未来」  
1. 真空技術と加速器のあゆみ  
2. 113番新元素の生成と確認  
3. 切らずになおす重粒子線治療：現状と将来展望
  - ・ 11月 18日 見学会 30名参加  
訪問先：東京大学宇宙線研究所重力波観測研究施設  
大型低温重力波望遠鏡 (KAGRA)
  - ・ 1月 25日 31名参加 (機械振興会館)  
1. 真空計と温度計のJCSS校正について  
2. 公的規格は標準化のガイドたり得るか～真空用フランジを例に考える～
  - ・ 3月 7日 22名参加 (機械振興会館)  
1. サファイア隔膜真空計の開発  
2. 表面化学分析における国際標準化－ISO/TC201の活動の紹介
  - 10) SP部会 定例研究会, 技術講習会, 勉強会, 技術交流会
    - ・ 6月 1日「第148回定例研究会：薄膜・ナノ結晶による表面修飾を利用した生体・医療デバイスの開発」 23名参加 (近畿大学会館)
    - ・ 8月 29日「第149回定例研究会：MEMS技術の今後の展開」 33名参加 (機械振興会館)
    - ・ 10月 21日「第150回定例研究会：Diversity of Sputtering and Plasma Technologies」 62名参加 (成蹊大学)
    - ・ 11月 11日「第1回勉強会：～数100eVのエネルギーを持った入射粒子とターゲットあるいは基板・薄膜との相互作用を理解する」 18名参加 (金沢工業大学東京事務所)
    - ・ 11月 30日「第57回真空に関する連合講演会・オーガナイズドセッション：スパッタリング成膜技術の新展開」約50名参加 (名古屋国際会議場)
    - ・ 12月 8日「第13回技術交流会」「第151回定例研究会」 19名参加 (機械振興会館)
    - ・ 12月 9日「平成27年度技術講習会：プロセス用プラズマの生成・計測・応用」 16名参加 (機械振興会館)
    - ・ 3月 8日「第152回定例研究会：半導体プロセス技術の最前線」 33名参加 (機械振興会館)
  - 11) 機能薄膜部会
    - ・ 7月 1日「ナノ構造機能創成専門部会 第5回研究会」  
テーマ：薄膜ナノ構造制御と機能性の創成 26名参加 (東京工業大学)
    - ・ 11月 18日「ナノ構造機能創成専門部会 第6回研究会」  
テーマ：薄膜ナノ構造制御と機能性の創成 16名参加 (東京工業大学)
  - 12) 出張真空技術講座
    - ・ 7月 19日 9名参加 (関西地区)
    - ・ 8月 4日 15名参加 (東海地区)
    - ・ 8月 29日 27名参加 (関東地区)
  - 13) 真空技術演習講座
    - ・ 9月 21日 16名参加 (機械振興会館)
  - 14) 営業職・文系にも役立つ真空技術講座
    - ・ 4月 26日 124名参加 (高エネルギー加速器研究機構)
    - ・ 9月 20日 13名参加 (機械振興会館)
  - 15) 第64回応用物理学会春季学術講演会シンポジウムの実施
    - ・ 3月 15日「加速器・宇宙科学における真空技術の現状と展望」 聴講者数は最大60名 (パシフィコ横浜)
  - 16) 8月 17～21日 IUVSTA Workshop-77 40名参加 (春日居びゅーほてる)
  - 17) 他学協会・団体等からの依頼  
協賛 49回, 後援 2回, 共催 1回
- (8) 支部
- 1) 関西支部

- ① 臨時総会 1回
  - ② 役員会 4回
  - ③ 講演会 1回
    - ・10月26日 日本真空工業会関西支部・日本真空学会関西支部合同講演会
      - 1.「プラズマを利用した宇宙用電気推進エンジンの開発」
      - 2.「有機EL用りん光性有機金属錯体の開発」
 日本真空学会関西支部より16名参加（ホテル大阪ベイタワー）
  - ④ 研究会 1回
    - ・6月11日 九州表面・真空研究会2016（応用物理学会九州支部，日本表面科学会九州支部と共催） 73名参加（九州大学 筑紫キャンパス）
    - 「新奇的な薄膜・表面現象とその応用の最前線」
    - 特別講演：2件
      - 1.「単結晶金属酸化物ナノワイヤの材料設計と物性デバイスへの展開」
      - 2.「高効率スピン分解光電子分光装置の開発と表面スピン電子状態研究」
    - 一般講演：26件
  - ⑤ 講習会 3回
    - ・5月24日～27日 第52回真空技術基礎講習会  
（日本真空工業会関西支部，大阪府技術協会と共催）  
48名参加（部分参加を含む）（大阪府立産業技術総合研究所）
    - ・8月24日～25日 第8回役に立つ真空技術入門講座  
44名参加（大阪電気通信大学駅前キャンパス）
    - ・8月25日 スクールコース  
「ディスプレイ・半導体産業，成膜，表面分析のための超高真空技術」  
10名参加（大阪電気通信大学駅前キャンパス）
  - ⑥ セミナー 2回
    - ・7月4日 日本真空学会関西支部，日本表面科学会関西支部合同セミナー2016  
（日本表面科学会関西支部との合同開催）  
「生分解性高分子の基礎と応用 ―近未来のすがた―」  
79名参加（京都大学桂キャンパス）
    - ・1月20日 第9回実用技術セミナー  
「―ここにもあった，人と地球に嬉しい真空技術―」  
34名参加（島津製作所関西支社マルチホール）
- 2) 東海支部
- ① 総会 0回
  - ② 支部役員会 3回
  - ③ 講演会 1回
    - ・4月23日 日本表面科学会中部支部・日本真空学会東海支部合同講演会  
26名参加（名古屋大学）
  - ④ 研究会 2回
    - ・8月9日「真空と宇宙」 31名参加（神岡町北部会館）重力波望遠鏡KAGRA見学  
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部支部，日本物理学会名古屋支部
    - ・3月11日「核融合研究を支える真空技術とプラズマの物理」 15名参加  
（中部大学名古屋キャンパス）  
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部支部
  - ⑤ 講習会 5回
    - ・4月6日 第3回真空技術超入門講座 39名参加（中部大学）
    - ・4月11日 第3回真空技術超入門講座 36名参加（名古屋大学）
    - ・6月3日 第3回真空技術超入門講座 41名参加（名古屋工業大学）
    - ・6月10日 第3回真空技術超入門講座 55名参加（三重大学）
    - ・7月6日 真空技術超入門講座 in 豊橋 32名参加（豊橋技術科学大学  
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー）

第2議案

平成28年度後期会計報告

貸借対照表

平成29年3月31日 現在

一般社団法人日本真空学会

(単位:円)

科 目	金 額		増 △減
	H28. 3. 31	H29. 3. 31	
借方の部			
現 金 ・ 預 金	43,039,734	42,027,704	△ 1,012,030
現 金	( 37,410 )	( 573,482 )	( 536,072 )
普 通 預 金	( 43,002,324 )	( 41,454,222 )	( △ 1,548,102 )
未 収 金	852,450	1,004,680	152,230
敷 金	2,247,800	2,247,800	0
前 払 金	114,081	1,431,265	1,317,184
仮 払 金	0	0	0
退職給付引当資産	2,355,000	2,755,000	400,000
国際会議積立資産	500,000	500,000	0
合 計	49,109,065	49,966,449	857,384

貸方の部			
未 払 金	386,597	612,529	225,932
預 り 金	193,011	324,721	131,710
退職給付引当金	2,355,000	2,755,000	400,000
国際会議積立金	500,000	500,000	0
基 金	39,172,254	39,172,254	0
次 期 繰 越 金	6,502,203	6,601,945	99,742
合 計	49,109,065	49,966,449	857,384

収支計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

(単位:円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前 期 よ り 繰 越	6,502,203		
会 費 収 入	14,297,000	管 理 費	11,560,558
事 業 収 入	32,050,290	運 営 費	35,281,251
雑 収 入	594,261	次 期 繰 越	6,601,945
計	53,443,754	計	53,443,754

予算・決算対照表

[収入の部]

(単位：円)

科 目	H28年度後期予算	H28. 4. 1～ H29. 3. 31現在	予算残
前 期 よ り 繰 越	6,502,203	6,502,203	0
会 費 収 入	14,253,000	14,297,000	△ 44,000
個 人 会 員 会 費	5,043,000	5,130,000	△ 87,000
学 生 会 員 会 費	130,000	156,000	△ 26,000
法 人 会 員 会 費	8,450,000	8,350,000	100,000
特 別 会 員 会 費	530,000	651,000	△ 121,000
法 人 会 員 入 会 金	100,000	10,000	90,000
事 業 収 入	35,217,318	32,050,290	3,167,028
研 究 例 会 参 加 費	472,000	602,455	△ 130,455
真 空 夏 季 大 学 参 加 費	9,942,000	5,873,400	4,068,600
真 空 応 用 技 術 講 座 参 加 費	658,818	431,000	227,818
広 告 費	8,000,000	6,503,960	1,496,040
連 合 講 演 会 参 加 費 等	3,640,500	4,189,600	△ 549,100
産 学 連 携 委 員 会 収 入	180,000	405,000	△ 225,000
関 西 支 部 事 業 収 入	600,000	728,000	△ 128,000
東 海 支 部 事 業 収 入	140,000	190,000	△ 50,000
S P 部 会 会 費 収 入	1,980,000	1,710,000	270,000
S P 部 会 事 業 収 入	730,000	565,000	165,000
機 能 薄 膜 部 会 会 費 収 入	200,000	0	200,000
機 能 薄 膜 部 会 参 加 費	105,000	26,000	79,000
I S S P 事 業 収 入	0	0	0
真 空 技 術 者 認 定 試 験	3,300,000	2,884,560	415,440
関 西 基 礎 講 習 会	2,189,000	2,632,000	△ 443,000
教 育 委 員 会 講 習 会 参 加 費	1,150,000	1,735,630	△ 585,630
会 誌 収 入	1,930,000	1,257,205	672,795
購 読 料	( 550,000 )	( 480,755 )	( 69,245 )
別 刷 代	( 1,100,000 )	( 610,130 )	( 489,870 )
冊 子 代	( 120,000 )	( 25,920 )	( 94,080 )
投 稿 料	( 160,000 )	( 140,400 )	( 19,600 )
I U V S T A ワークショップ	0	2,316,480	△ 2,316,480
雑 収 入	750,000	594,261	155,739
受 取 利 息	10,000	815	9,185
補 助 金	240,000	230,580	9,420
雑 収 入	500,000	362,866	137,134
寄 付 金	50,000	0	50,000
今 期 計	50,270,318	46,941,551	3,328,767
合 計 (前期繰越+今期計)	56,772,521	53,443,754	3,328,767

## [支出の部]

(単位：円)

科 目	H28年度後期予算	H28. 4. 1～ H29. 3. 31現在	予算残
管 理 費	12,350,000	11,560,558	789,442
給 与 引 当 金	4,100,000	3,992,000	108,000
退 職 給 与 引 当 金	400,000	400,000	0
通 勤 費	290,000	282,600	7,400
福 利 厚 生 費	1,100,000	1,071,553	28,447
事 務 所 費	3,000,000	2,965,399	34,601
旅 費 交 通 費	10,000	6,115	3,885
通 信 費	350,000	343,906	6,094
事 務 消 耗 品 費	0	0	0
事 務 雑 費	850,000	519,499	330,501
事 務 機 器 リ ー ス 費	900,000	797,749	102,251
総 会 費	250,000	299,377	△ 49,377
理 事 会 費	1,100,000	882,360	217,640
運 営 費	37,920,318	35,281,251	2,639,067
委 員 会 運 営 費	6,347,468	6,803,846	△ 456,378
事 業 計 画 委 員 会	( 900,000 )	( 1,536,486 )	( △ 636,486 )
財 務 委 員 会	( 10,000 )	( 0 )	( 10,000 )
教 育 委 員 会	( 160,000 )	( 129,480 )	( 30,520 )
編 集 委 員 会	( 260,000 )	( 258,430 )	( 1,570 )
講 演 ・ 研 究 会 企 画 委 員 会	( 157,920 )	( 138,953 )	( 18,967 )
産 学 連 携 委 員 会	( 635,548 )	( 697,769 )	( △ 62,221 )
規 格 ・ 標 準 委 員 会	( 250,000 )	( 496,921 )	( △ 246,921 )
広 報 委 員 会	( 50,000 )	( 0 )	( 50,000 )
国 際 委 員 会	( 930,000 )	( 708,577 )	( 221,423 )
真 空 技 術 者 資 格 認 定 委 員 会	( 2,094,000 )	( 1,937,230 )	( 156,770 )
資 格 試 験 事 務 経 費	( 900,000 )	( 900,000 )	( 0 )
関 西 支 部	1,400,000	1,164,477	235,523
東 海 支 部	299,000	323,058	△ 24,058
S P 部 会	2,610,000	1,986,543	623,457
定 例 会 ・ 幹 事 会 運 営 費	( 1,930,000 )	( 1,265,174 )	( 664,826 )
技 術 講 習 会	( 180,000 )	( 200,455 )	( △ 20,455 )
勉 強 会	( 0 )	( 20,914 )	( △ 20,914 )
事 務 経 費	( 500,000 )	( 500,000 )	( 0 )
機 能 薄 膜 部 会	280,000	108,562	171,438
真 空 技 術 調 査 部 会	150,000	0	150,000
I S S P 運 営 費	0	0	0
I S S P 事 務 経 費	0	0	0
研 究 例 会 運 営 費	310,000	312,054	△ 2,054
連 合 講 演 会 運 営 費	3,225,850	2,942,175	283,675
真 空 夏 季 大 学 運 営 費	7,600,000	4,532,658	3,067,342
真 空 夏 季 大 学 事 務 経 費	1,500,000	1,500,000	0
真 空 応 用 技 術 講 座 運 営 費	0	0	0
関 西 基 礎 講 習 会	2,189,000	2,064,260	124,740
教 育 委 員 会 講 習 会 運 営 費	400,000	726,166	△ 326,166

科 目	H28年度後期予算	H28. 4. 1～ H29. 3. 31現在	予算残
真空・表面若手研究会	150,000	206,978	△ 56,978
表彰関係費	350,000	290,213	59,787
顕彰関係費	150,000	142,724	7,276
会誌発行費	6,516,000	6,132,364	383,636
印刷費	( 5,520,000 )	( 5,138,221 )	( 381,779 )
送料	( 996,000 )	( 994,143 )	( 1,857 )
編集・広報業務委託費	3,120,000	3,054,672	65,328
J - S T A G E 利用料	31,000	33,156	△ 2,156
H P 作成費	0	0	0
名簿出版費	0	0	0
真空展ワーキング	0	16,600	△ 16,600
I U V S T A ワークショップ	692,000	2,420,407	△ 1,728,407
管理費（租税公課）	600,000	520,338	79,662
予備費	0	0	0
計	50,270,318	46,841,809	3,428,509
次期繰越	6,502,203	6,601,945	—
合計	56,772,521	53,443,754	3,328,767

以上の通り報告いたします。

平成29年4月28日

会 長 齊藤 芳男

監査の結果、適正に処理されていることを認めました。

平成29年4月28日

監 事 浦野 智秋  
監 事 田中 正俊

### 第3議案

#### 公益社団法人日本表面科学会との合併について

日本真空学会は、将来検討に向けて、公益社団法人日本表面科学会と「合併協議に関する覚書」を締結し合併の検討を行ってきました。この間、検討内容の詳細については、会告、電子メール、説明会でご報告いたしましたが、平成29年4月28日の理事会に於いて、「合併契約書」および「合併に関する覚書」を公益社団法人日本表面科学会と締結すること、ならびに、平成29年6月8日の社員総会に公益社団法人日本表面科学会との合併に関する特別決議案を提出することが、出席理事27名中、27名の賛成により承認され、平成29年5月4日に「合併契約書」および「合併に関する覚書」を調印いたしました。

ここに、『公益社団法人日本表面科学会との「合併契約書」および「合併に関する覚書」の承認』を特別決議案として提出いたします。

なお、合併契約の成立には、合併契約書の調印後に社員総会での特別決議が求められており、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数が必要とされます。

## 合併契約書

公益社団法人日本表面科学会（以下「甲」という。）と、一般社団法人日本真空学会（以下「乙」という。）とは、合併に関し、次のとおり契約を締結する。

### (合併の形式)

第1条 甲及び乙は、甲を吸収合併存続法人、乙を吸収合併消滅法人として合併する。

2 吸収合併存続法人及び吸収合併消滅法人の名称及び住所は、次のとおりである。

(1) 吸収合併存続法人

名称 公益社団法人日本表面科学会

住所 東京都文京区本郷二丁目40番13号

(2) 吸収合併消滅法人

名称 一般社団法人日本真空学会

住所 東京都港区芝公園三丁目5番8号

3 本合併後の吸収合併存続法人の名称及び住所は以下のとおりとする。

名称 公益社団法人日本表面真空学会

住所 協議の上、決定

### (効力発生日)

第2条 合併の効力発生日は、平成30年4月1日とする。ただし、合併手続の進行に応じ必要があるときは、甲及び乙が協議の上、これを変更することができる。

### (合併承認)

第3条 甲及び乙は本契約につき承認を得るため、平成29年6月30日までに、それぞれ社員総会の承認を得るものとする。

### (法人財産の引継ぎ)

第4条 乙は、平成30年3月31日現在の貸借対照表、財産目録その他同日現在の計算を基礎とし、これに効力発生日の前日までの増減を加除した一切の資産、負債及び権利義務を効力発生日に甲に引き継ぎ、甲はこれを承継するものとする。

### (善管注意義務)

第5条 甲及び乙は、本契約締結後効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもってそれぞれ業務の執行及び財産の管理運営を行い、その財産及び権利義務に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、あらかじめ甲及び乙が協議の上これを行う。

(職員の処遇)

第6条 甲は、効力発生日において、乙の職員を甲の職員として引き継ぐものとする。ただし、勤務年数については、乙における年数を通算する。

(合併条件の変更等)

第7条 本契約締結の日から効力発生日に至るまでの間において、天災地変その他の事由により、甲又は乙の財産若しくは事業運営に重大な変動を生じたときは、甲及び乙が協議の上、合併条件を変更し、又は本契約を解除することができる。

(本契約に定めのない事項)

第8条 本契約に定める事項のほか、合併に関し必要な事項は、本契約の趣旨に従い甲及び乙が協議の上、これを決定する。

本契約の成立を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、各1通を保有する。

平成29年5月4日

甲 東京都文京区本郷二丁目40番13号  
公益社団法人日本表面科学会

代表理事（会長）

荻野俊郎 

乙 東京都港区芝公園三丁目5番8号  
一般社団法人日本真空学会

代表理事（会長）

齊藤芳男 

## 合併に関する覚書

公益社団法人日本表面科学会（以下「甲」という。）と一般社団法人日本真空学会（以下「乙」という。）は、それぞれの強みを相補的に生かしながら連携を深めることによって、学術的にも国際的にも存在感を増して当該分野を牽引し、さらに産業界との連携強化を図って日本の科学技術産業の発展に資することを目的として、合併契約書を締結し社員総会で承認のうえ合併を行う。合併契約書承認後、合併作業を遂行するために、次のとおり覚書を取り交わすものとする。

### （合併の基本方針）

第1条 甲を吸収合併存続法人、乙を吸収合併消滅法人として合併する。合併の基本方針は以下のとおりである。

- ① 両学会は対等な精神をもって合併する。
- ② 両学会の各事業は基本的にそのまま継続することを保証する。
- ③ 合併によって会員や事務局員などすべての人に不利益が出ないようにする。
- ④ 事業継承の観点から、当初は独立した事業として運営せざるを得ない事業に関しては、分野別の運営協議会において企画、運営を掌握する。

2 甲及び乙の名称及び住所は、次のとおりである。

#### （1）甲

名称 公益社団法人日本表面科学会

住所 東京都文京区本郷二丁目40番13号

#### （2）乙

名称 一般社団法人日本真空学会

住所 東京都港区芝公園三丁目5番8号

### （合併の手順）

第2条 合併の最終的な内容及び条件の詳細を定める法的拘束力のある合併契約書の締結を行い、甲及び乙のそれぞれの社員総会での承認を得た後、合併の効力発生日までに内閣府の承認および登記を行う。

### （情報の開示）

第3条 甲及び乙は、合併のために財務諸表等の必要な情報を相互に開示するものとする。

2 開示された情報は、漏えいに十分注意するとともに、合併以外の目的に使用してはならない。

### （合併作業委員会）

第4条 甲及び乙は、合併契約書締結・承認後、各学会長を共同委員長とする合併作業委員会、及び、それぞれの検討項目に対して当該各学会長が各々指名する担当者により組織される分

科会において、合併作業を進め、合併効力発生日までに円滑な合併を実現する。

(法人財産の引継ぎ)

第5条 合併の効力発生日に甲は乙のすべての財産を引き継ぐものとする。

(善管注意義務)

第6条 甲及び乙は、本覚書および合併契約書締結後、合併の効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもってそれぞれ業務の執行及び財産の管理運営を行い、その財産及び権利義務に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、あらかじめ甲及び乙が協議の上これを行う。

(職員の処遇)

第7条 甲は、合併の効力発生日において、乙の職員を引き継ぐものとする。ただし、勤務年数については、乙における年数を通算する。

(合併条件の変更等)

第8条 本覚書および合併契約書締結の日から合併の効力発生日に至るまでの間において、天災地変、その他の事由により、甲又は乙の財産若しくは事業運営に重大な変動を生じたときは、甲及び乙が協議の上、合併条件を変更し、又は本合併覚書を解除することができる。合併契約書の解除は社員総会での承認を必要とする。

(本覚書に定めのない事項)

第9条 本覚書に定める事項のほか、合併に関し必要な事項は、本覚書の趣旨ならびに甲と乙の合同合併検討委員会からの報告に従い甲及び乙が協議の上、これを決定する。

本覚書の成立を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、各1通を保有する。

平成29年5月4日

甲 東京都文京区本郷二丁目40番13号  
公益社団法人日本表面科学会

代表理事(会長)

荻野俊郎 

乙 東京都港区芝公園三丁目5番8号  
一般社団法人日本真空学会

代表理事(会長)

齋藤芳男 

## 第4議案

### 一般社団法人 日本真空学会 平成29-30年度役員候補者

役 職	No.	氏 名	所 属
理事候補	1	新井 健太	産業技術総合研究所
	2	荒川 一郎	学習院大学
	3	板倉 明子	物質・材料研究機構
	4	稲吉さかえ	(株)アルバック
	5	入江 則裕	入江工研(株)
	6	大岩 烈	シエンタ オミクロン(株)
	7	大林 哲郎	(株)大阪真空機器製作所
	8	岡野夕紀子	(株)岡野製作所
	9	沖村 邦雄	東海大学
	10	河原 敏男	中部大学
	11	北野 雅裕	北野精機(株)
	12	黒岩 雅英	東京電子(株)
	13	桑原 裕司	大阪大学
	14	後藤 康仁	京都大学
	15	齊藤 芳男	東京大学
	16	財満 鎮明	名古屋大学
	17	佐藤 弘悦	佐藤真空(株)
	18	篠原 真	(株)島津製作所
	19	関口 敦	工学院大学
	20	関口 信一	(株)荏原製作所
	21	高橋 主人	元大島商船高等専門学校
	22	高橋 直樹	(株)ニコン
	23	富江 崇	大亜真空(株)
	24	中川 潤	(株)トヤマ
	25	中野 武雄	成蹊大学
	26	中村 健	産業技術総合研究所
	27	中村 恵	キヤノンアネルバ(株)
	28	長谷川修司	東京大学
	29	福谷 克之	東京大学
	30	本田 融	高エネルギー加速器研究機構
	31	間瀬 一彦	高エネルギー加速器研究機構
	32	松本 益明	東京学芸大学
	33	道園真一郎	高エネルギー加速器研究機構
	34	安江 常夫	大阪電気通信大学
	35	湯原 浩	(株)シンクロン
	36	吉田 秀樹	(株)テクノポート
監事候補	1	浦野 智秋	
	2	尾浦憲治郎	大阪大学

## 報告事項 1

### 平成 29 年度 事業計画 (案)

- (1) 総 会 1 回
- (2) 理事会等
  - ・理事会 4 回
  - ・協議員会 1 回
  - ・日本真空工業会理事会へ派遣 5 回
  - ・IUVSTA 理事会 (ECM) へ派遣 2 回
- (3) 委員会
  - ・事業計画委員会 3 回
  - ・財務委員会 3 回
  - ・教育委員会 4 回
  - ・編集委員会 6 回
  - ・講演・研究会企画委員会 5 回 (内 1 回メール審議)
  - ・産学連携委員会 (幹事会) 4 回
  - ・規格・標準委員会 5 回
  - ・広報委員会 1 回
  - ・国際委員会 1 回
  - ・真空技術者資格認定委員会 (日本真空工業会と合同) 3 回 (内 1 回メール審議)
- (4) 部会等
  - ・スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会 5 回
  - ・機能薄膜部会 ナノキャラクターゼイション専門部会 1 回
  - ナノ構造機能創成専門部会 1 回
  - ・真空技術調査部会 1 回
- (5) 会議等
  - ・顕彰審査会 1 回
  - ・表彰審査会 1 回
  - ・規格標準合同検討委員会 (日本真空工業会と合同) 5 回
  - ・低圧力真空計ワーキング 3 回
  - ・JIS 改正原案作成委員会本委員会 3 回
  - ・JIS 改正原案作成委員会分科会 1 回
  - ・ISO 派遣 1 回
  - ・2017 年真空・表面科学合同講演会(第 58 回真空に関する連合講演会) (日本表面科学会と合同) 合同実行委員会 3 回
  - 合同プログラム委員会 1 回
  - ・第 59 回真空に関する連合講演会 実行委員会 1 回
  - ・第 39 回 VACUUM 2017 真空展 展示委員会 (日本真空工業会, 日刊工業新聞社と合同) 3 回
  - ・第 40 回 VACUUM 2018 真空展 展示委員会 (日本真空工業会, 日刊工業新聞社と合同) 1 回
  - ・ISSP2017 国際会議実行委員会 2 回
  - ・真空技術者試験委員会 7 回
  - ・合併検討委員会 1 回
  - ・合同合併検討委員会 1 回
  - ・IVC-22 準備委員会 2 回
  - ・真空科学ハンドブック編集委員会 3 回
- (6) 事 業
  - 1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」発行 12 回
  - 2) 2017 年真空・表面科学合同講演会(第 58 回真空に関する連合講演会)  
8 月 17 日～19 日 (横浜市立大学金沢八景キャンパス, 日本表面科学会との合同開催)
    - ・企画 オーガナイズドセッション
    - ・併設 展示会 (日本表面科学会との合同開催)
    - ・併設 スクールコース

- 3) 第 57 回真空夏季大学 8 月 29 日～9 月 1 日 (帝人アカデミー富士)
    - ・併設 真空応用技術講座 (4 講座)
  - 4) 第 53 回真空技術基礎講習会 5 月 23 日～26 日 (大阪産業技術研究所)
    - (日本真空工業会関西支部, 大阪府技術協会との合同開催)
  - 5) 真空技術者資格認定試験 (日本真空工業会と共催)
    - ・真空主任技術者認定
    - ・1 級・2 級真空技術者 試験日: 11 月 11 日  
(東京: 機械振興会館, 大阪: 大阪科学技術センター)
  - 6) 第 14 回スパッタリングおよびプラズマプロセス国際シンポジウム (ISSP2017)
    - 2017 年 7 月 5 日～7 日 (金沢工業大学扇が丘キャンパス)
  - 7) 顕彰・表彰
    - ・第 4 回学会賞
    - ・第 5 回真空の匠
    - ・第 4 回フェロー
    - ・第 42 回熊谷記念真空科学論文賞
    - ・第 42 回真空技術賞
    - ・第 26 回真空進歩賞
    - ・第 6 回真空会誌賞
    - ・優秀ポスター賞
    - ・SP 部会賞
  - 8) 第 39 回 VACUUM 2017 真空展 9 月 6 日～8 日 (パシフィコ横浜)
    - (日本真空工業会と共催)
    - ・規格標準報告会
    - 日本真空学会企画
      - ・大学・公的研究機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介
      - ・フォーラム・シンポジウム(仮名)
      - ・スクールコース (3 回)
        - 「中級真空技術講座(仮)」
      - ・スクールコース (各 1 回)
        - 「成膜の基本技術講座」,
        - 「光学薄膜, 成膜基礎 (民間企業講師)」,
        - 「ドライプロセスによる表面処理のための真空・ガス制御技術」
    - ・学生ツアー
  - 9) 研究例会 4 回 (内 1 回東京地区以外で開催)
  - 10) 産学連携委員会例会 6 回 (内フォーラム・シンポジウム(仮名)1 回 (日本真空工業会との合同開催), 見学会 2 回)
  - 11) SP 部会 定例研究会 5 回 (内 1 回技術交流会)
    - 技術講習会 1 回
    - 勉強会 1 回
  - 12) 機能薄膜部会 ナノキャラクターゼイション専門部会 研究会 1 回
    - ナノ構造機能創成専門部会 研究会 1 回
  - 13) 真空技術調査部会 セミナー・研究会 1 回
  - 14) 第 65 回応用物理学会春季学術講演会シンポジウム 1 回
  - 15) 出張真空技術講座 2 回
  - 16) 真空技術演習講座 1 回
  - 17) 営業職・文系のための真空技術講座 2 回
  - 18) 真空・表面科学若手研究会 1 回
  - 19) 真空科学ハンドブック (日本真空学会編集, コロナ社刊) 発行予定
  - 20) IUVSTA Workshop 1 回
- (7) 支 部
- ①関西支部
    - ・総 会 1 回
    - ・役員会 4 回
    - ・研究会 1 回
    - 研究例会「九州真空・表面研究会」(応用物理学会九州支部, 日本表面科学会九

- 州支部との合同開催) 6月24日
  - ・講演会 2回
    - 2017年度第1回講演会 4月3日
    - 2017年度第2回講演会 (日本真空工業会関西支部との合同開催) 9月28日
  - ・講習会 2回
    - 第53回真空技術基礎講習会 1回 5月23日～26日  
(日本真空工業会関西支部, 大阪府技術協会との合同開催)
    - 第9回役に立つ真空技術入門講座 1回 8月24日～25日
  - ・セミナー 2回
    - 日本表面科学会関西支部との合同セミナー 7月6日
    - 第10回関西支部実用技術セミナー 2018年1月
- ②東海支部
- ・総会 1回
  - ・役員会 4回
  - ・講演会 1回
    - 2017年度日本表面科学会中部支部・日本真空学会東海支部合同講演会  
(日本表面科学会中部支部との合同開催) 4月22日
  - ・研究会 3回
    - 2017年度第1回研究例会 7月
    - 2017年度第2回研究例会 11月
    - 2017年度第3回研究例会 1月
  - ・講習会 5回
    - 真空技術超入門講座 4月, 5月, 6月

## 報告事項2

## 平成29年度予算

[収入の部]

(単位:円)

科 目	28年度4-3予算案	28年度4-3実績	29年度予算案
前期より繰越	6,502,203	6,502,203	6,601,945
会 費 収 入	14,253,000	14,297,000	14,236,000
個人会員会費	5,043,000	5,130,000	5,070,000
学生会員会費	130,000	156,000	156,000
法人会員会費	8,450,000	8,350,000	8,350,000
特別会員会費	530,000	651,000	650,000
法人会員入会金	100,000	10,000	10,000
事 業 収 入	35,217,318	32,050,290	33,958,000
研究例会参加費	472,000	602,455	450,000
真空夏季大学参加費	9,942,000	5,873,400	6,000,000
真空応用技術講座参加費	658,818	431,000	450,000
広 告 費	8,000,000	6,503,960	6,500,000
連合講演会参加費等	3,640,500	4,189,600	2,390,000
産学連携委員会収入	180,000	405,000	381,000
関西支部事業収入	600,000	728,000	688,000
東海支部事業収入	140,000	190,000	140,000
S P 部会会費収入	1,980,000	1,710,000	1,980,000
S P 部会事業収入	730,000	565,000	530,000
機能薄膜部会会費収入	200,000	0	0
機能薄膜部会参加費	105,000	26,000	20,000
I S S P 事業収入	0	0	6,074,000
真空技術者認定試験	3,300,000	2,884,560	2,570,000
関西基礎講習会	2,189,000	2,632,000	2,665,000
教育委員会講習会参加費	1,150,000	1,735,630	1,700,000
会 誌 収 入	1,930,000	1,257,205	1,420,000
購 読 料	( 550,000 )	( 480,755 )	( 500,000 )
別 刷 代	( 1,100,000 )	( 610,130 )	( 720,000 )
冊 子 代	( 120,000 )	( 25,920 )	( 40,000 )
投 稿 料	( 160,000 )	( 140,400 )	( 160,000 )
I U V S T A ワークショップ	0	2,316,480	0
雑 収 入	750,000	594,261	1,137,815
受 取 利 息	10,000	815	815
補 助 金	240,000	230,580	787,000
雑収入(規格, DVD売上等)	500,000	362,866	350,000
寄 付 金	50,000	0	0
今 期 計	50,270,318	46,941,551	49,331,815
合 計	56,772,521	53,443,754	55,933,760

## [支出の部]

(単位:円)

科 目	28年度4-3予算案	28年度4-3実績	29年度予算案
管 理 費	12,350,000	11,560,558	11,946,000
給 与 引 当 金	4,100,000	3,992,000	4,200,000
退 職 給 与 費	400,000	400,000	400,000
通 勤 費	290,000	282,600	297,000
福 利 厚 生 費	1,100,000	1,071,553	1,072,000
事 務 所 費	3,000,000	2,965,399	3,000,000
旅 費 交 通 費	10,000	6,115	10,000
通 信 費	350,000	343,906	350,000
事 務 雑 費	850,000	519,499	520,000
事 務 機 器 リ ー ス 費	900,000	797,749	798,000
総 会 費	250,000	299,377	299,000
理 事 会 費	1,100,000	882,360	1,000,000
運 営 費	37,920,318	35,281,251	37,366,000
委 員 会 運 営 費	6,347,468	6,803,846	6,512,000
事 業 計 画 委 員 会	( 900,000 )	( 1,536,486 )	( 1,350,000 )
財 務 委 員 会	( 10,000 )	( 0 )	( 10,000 )
教 育 委 員 会	( 160,000 )	( 129,480 )	( 180,000 )
編 集 委 員 会	( 260,000 )	( 258,430 )	( 260,000 )
講 演 ・ 研 究 会 企 画 委 員 会	( 157,920 )	( 138,953 )	( 214,000 )
産 学 連 携 委 員 会	( 635,548 )	( 697,769 )	( 559,000 )
規 格 ・ 標 準 委 員 会	( 250,000 )	( 496,921 )	( 550,000 )
広 報 委 員 会	( 50,000 )	( 0 )	( 30,000 )
国 際 委 員 会	( 930,000 )	( 708,577 )	( 990,000 )
真 空 技 術 者 資 格 認 定 委 員 会	( 2,094,000 )	( 1,937,230 )	( 1,810,000 )
資 格 試 験 事 務 経 費	( 900,000 )	( 900,000 )	( 559,000 )
関 西 支 部	1,400,000	1,164,477	1,273,000
東 海 支 部	299,000	323,058	396,000
S P 部 会	2,610,000	1,986,543	2,299,000
定 例 会 ・ 幹 事 会 運 営 費	( 1,930,000 )	( 1,286,088 )	( 1,737,000 )
技 術 講 習 会	( 180,000 )	( 200,455 )	( 162,000 )
事 務 経 費	( 500,000 )	( 500,000 )	( 400,000 )
機 能 薄 膜 部 会	280,000	108,562	100,000
真 空 技 術 調 査 部 会	150,000	0	90,000
I S S P 運 営 費	0	0	3,765,000
I S S P 事 務 経 費	0	0	1,785,000
研 究 例 会 運 営 費	310,000	312,054	207,000
連 合 講 演 会 運 営 費	3,225,850	2,942,175	1,790,000
真 空 夏 季 大 学 運 営 費	7,600,000	4,532,658	4,800,000
教 育 委 員 会 関 連 事 業 事 務 経 費	1,500,000	1,500,000	1,575,000
教 育 委 員 会 講 習 会 運 営 費	400,000	726,166	790,000
関 西 基 礎 講 習 会	2,189,000	2,064,260	2,398,000
真 空 ・ 表 面 若 手 研 究 会	150,000	206,978	210,000
表 彰 関 係 費	350,000	290,213	300,000
頭 彰 関 係 費	150,000	142,724	150,000
会 誌 発 行 費	6,516,000	6,132,364	5,196,000
印 刷 費	( 5,520,000 )	( 5,138,221 )	( 4,200,000 )
送 料	( 996,000 )	( 994,143 )	( 996,000 )
編 集 ・ 広 報 業 務 委 託 費	3,120,000	3,054,672	3,120,000
J - S T A G E 利 用 料	31,000	33,156	40,000
真 空 展 ワ ー キ ン グ	0	16,600	20,000
I U V S T A ワ ー ク シ ョ ッ プ	692,000	2,420,407	0
管 理 費 ( 租 税 公 課 )	600,000	520,338	550,000
予 備 費	0	0	19,815
計	50,270,318	46,841,809	49,331,815
次 期 繰 越 金	6,502,203	6,601,945	6,601,945
合 計	56,772,521	53,443,754	55,933,760